



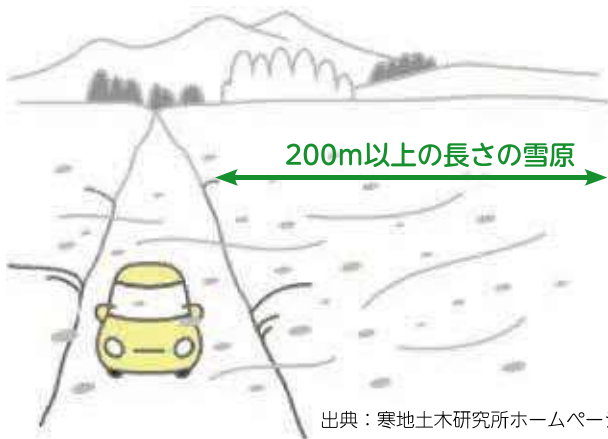
じゃがいもずきん
「ききぼう」くん

道路には、周りの土地よりも高い位置にある「**盛土道路**」と、逆に低い位置にある「**切土道路**」という種類があります。

一般的に、「盛土道路」よりも「切土道路」の方が、吹きだまりが発生しやすい傾向があり、冬場の通行には注意が必要になります。

道路の吹きだまりが深くなると、車の走行が困難になることがあるため、吹きだまりには十分注意し、無理のない運転をするよう心がけましょう。

●周囲の開けた平坦な地形の道路



出典：寒地土木研究所ホームページ

吹雪をさえぎる樹木や建物が少なく、周囲が開けた平坦地では、道路に吹き込んでくる雪が多くなりやすいため、視程障害（※1）や吹きだまりが発生しやすくなります。200m以上の長さの開けた雪原がある場合、風で飛ばされる地吹雪の量が最大に達します。したがって、風上側が大きく開けているような道路では、吹雪による視程障害が発生しやすいといえます。特に、畑や牧草場が広がっている平地では、冬には広い雪原になるので、風の強いときには注意しましょう。

（※1）吹雪により視界が悪くなること

●峠区間や急峻地形の道路

峠区間や山岳地の急峻地形（山や坂などの傾斜が急でけわしい地形）にある道路では、複雑な地形を吹き抜ける風によって、視程障害もたらされることがあります。特に、標高の高い山地には背の低い木が多く、積雪も多いので、冬には吹雪をさえぎる樹木が少なくなります。このような峠区間や急峻地形の道路では、気象の変化も著しく、短い区間でも視程が急変することがあるので、走行には注意が必要です。

●切土区間や盛土との境の区間

深い切土区間では、切土の上の平地で発生した飛雪が道路上に吹き込むことによって、吹きだまりや視程障害が引き起こされることがあります。また、切土と盛土との境の区間では、盛土から切土に吹き込む風によって視程障害をまねくこともあります。



出典：寒地土木研究所ホームページ

知っておきたい！ 道路情報の入手方法

12月は1年を通して交通事故が最も多い月です。日照時間が短いことや、路面の凍結（アイスバーン）による事故などが原因として挙げられています。12月は雪が降り始め、雪道に慣れていない時期でもあるので、運転する際は時間に余裕を持ち、安全運転を心がけましょう。

お出かけする際には以下のQRコードから道路情報や気象情報等を確認しましょう。

北海道地区道路情報	吹雪の視界情報 「北の道ナビ」	北海道防災情報 メール	中標津町緊急情報メール （キキボウ）
			
国道・道道の情報を掲載。 登録メールからは国道の 通行止め情報を入手可能。	吹雪の情報や国道・道道の 通行止め情報などを掲載。 登録メールによる視界情報の 配信も可能。	気象情報がメール配信さ れるよう登録可能。 道道の通行規制情報も配 信可能。	町が避難などの緊急情報 を配信。 QRコードを読み取り、 空メールを送信し、登録 してください。

詳しくは、総務課 防災係まで。